



報道関係者 各位

平成 31 年 3 月 1 日 (金)

【照会先】

大分労働局職業安定部

部 長 越橋 健太郎

労働市場情報官 石井 晴次

電話 097-535-2090(内線 313)

大分県の雇用情勢 (平成 31 年 1 月分)

○ 有効求人倍率 「1.56 倍」 (前月比 0.02P 低下)

(※平成 30 年 12 月以前の季節調整値は、新季節指数により改訂されています。)

- ・ 3 か月ぶりに低下するも、過去 3 番目の高い水準を維持
- ・ 正社員有効求人倍率 前年同月比 0.10P 上昇の 1.27 倍 (九州ブロックで 13 か月連続 1 位)

- ・ 県内の雇用情勢は、着実に改善が進んでいる。
- ・ 有効求人倍率 (季節調整値) は、前月 (1.58 倍) を 0.02 ポイント下回り、3 か月ぶりに低下するも、過去 3 番目の高い水準を維持。
- ・ 有効求人倍率 (季節調整値) は、平成 27 年 2 月から 48 か月連続で 1.0 倍以上。
- ・ 有効求人数 (季節調整値) は、前月比 1.2% 減と 3 か月ぶりに減少。
- ・ 有効求職者数 (季節調整値) は、前月比 0.1% 増と 2 か月連続の増加。
- ・ 正社員有効求人倍率 (原数値) は、前年同月比 0.10 ポイント上回り、高い水準を維持。
- ・ 就業地別有効求人倍率 (季節調整値) は、前月比 0.03 ポイント下回り、3 か月ぶりの低下。

1. 求人倍率の状況

- (1) 1 月の有効求人倍率 (季節調整値) は、有効求人数 (同) が 27,680 人と前月に比べ 1.2% 減少し、有効求職者数 (同) は 17,700 人と前月に比べ 0.1% 増加となったことから、前月を 0.02 ポイント低下の 1.56 倍 となりました。(昭和 38 年 1 月から集計)
- (2) 正社員有効求人倍率 (原数値) は、前年同月を 0.10 ポイント上回る 1.27 倍 となり、平成 29 年 6 月から 20 か月連続の 1 倍台を維持しました。(平成 17 年 4 月から集計)
- (3) 就業地別有効求人倍率 (季節調整値) は、前月比 0.03 ポイント下回る 1.70 倍 となり、3 か月ぶりに低下しました。(平成 17 年 2 月から集計)

2. 求人の状況

新規求人数 (原数値) は 10,808 人と前年同月比で 2.8% 増加 しました。

これを主要産業別で見ますと、情報通信業 (27.8%)、卸売業、小売業 (10.6%)、サービス業 (9.6%)、医療、福祉 (3.3%)、運輸業、郵便業 (1.2%) で増加となり、生活関連サービス業、娯楽業 (▲8.4%)、建設業 (▲7.1%)、製造業 (▲5.0%)、宿泊業、飲食サービス業 (▲0.2%) で減少となりました。

3. 求職の状況

新規求職申込件数 (原数値) は 5,249 人と前年同月比で 1.3% 増加 しました。

このうち常用フルタイム新規求職者数 (同) は 3,322 人と前年同月比で 2.4% 減少しました。

内訳は、在職者 1,380 人 (▲3.2%)、離職者 1,756 人 (▲0.4%)、無業者 186 人 (▲13.5%) となっています。

離職者を離職理由別にみますと、事業主都合 329 人 (▲5.2%)、自己都合 1,325 人 (▲0.9%) となりました。

4. ハローワーク別有効求人倍率の状況

ハローワーク別の有効求人倍率 (原数値) を見ますと、最高は大分所の 1.92 倍 (前月 : 1.93 倍)、最低は別府所の 1.20 倍 (同 : 1.26 倍) となりました。

5. 雇用保険受給者の状況

雇用保険受給者実人員については、4,163 人と前年同月比で 1.2% 増加 しました。